

緑豊かな自然の町、たちばなのお米

橘産

さがびより



平成27年1月28日発行

現在の生育は平年並み！

田植え後の佐賀の天気は、曇天続きで、日照時間は少なく、さがびよりに
としては、晴れ間がほしい天気続きです。佐賀の平年の梅雨明けは、7月
19日ですので、昨年に続き遅い梅雨明けになりそうです。



7月20日に田植え後、第1回
目の現地研修会を開催し、
現状の生育状況をもとに、
今後の管理について研修会
を実施しました。
日照量が少なく、稲は、
穂になる茎の数が少なくな
り収量に影響するため、茎
の数を取りやすくするため
に、田んぼの水をためすぎ
ないような管理を行うこと
で、茎数確保に努めます。
佐賀の主力品種「夢しずく」
については、茎数も少なく、
遅れぎみの生育のなかで、

「さがびより」についての生育は、ほぼ平年並みです。梅雨明けと共に稲の成長も日に日
に変わってきます。このあとは、食味・収量に影響をする「穂肥」の作業に入ります。
田植えして間もないようですが、もう、折り返し地点です！

15周年の橘小学校田んぼの学校！

毎年、橘小学校の5年生が田んぼの学校において、稲作体験な生き物調べを通じて、
農業や自然との共生を学んでいます。今年で15回目のを迎え、5月30日は、15回目
の開校式・たねまきが行われました。毎年、小学校の育友会の皆様や地域の区長
さんはじめ地域の方が参加さ

れ、地域行事として定着して
いること感じています。
私が、毎年楽しみにしているのが、
子供たちが自ら考えて発表され

る「田んぼの学校」の校歌とタン
入です。今年の田んぼの学校の校
歌の題名は「ゆめをかなえてお
米」です。
最初の披露のときは、毎年、聴
すかして、「は」がみながり
なんです。が、収穫祭の「よきわ
祭」には立派な校歌となり、自信
満々の表情で田んぼの学校の校
歌斉唱となってくのが楽しみ
です。

今年も、「ヨクモチがたく
わ」との歌が楽しみです。
「ゆめをかなえて」や「
たね」。おひやういせー

